

科目	世界史B	学年	第3学年	開講	通年	必修	4単位
----	------	----	------	----	----	----	-----

教科書:「詳説世界史 改訂版」山川出版社
副教材:「詳説世界史 ノート」山川出版社

1 学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特徴を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能 定期考査、課題等
- b 思考・判断・表現 定期考査、課題等
- c 主体的に学習に取り組む態度 平素の授業態度、提出物、発表等

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考査
前期	第I部	オリエントと地中海世界	古代オリエント世界	西アジア世界の地理的特徴を把握し、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。地中海一帯の地理的特徴を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。都市国家から大帝国内に発展したローマ文明の特徴を理解する。	4	中間
			ギリシア世界		5	
			ローマ世界			
		アジア・アメリカの古代文明	インドの古典文明	南アジアの地理的特徴を把握し、インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など南アジア世界の形成過程を理解する。東南アジア世界における国家形成を理解する。中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色を理解する。	6	6
			東南アジアの諸文明			
	中国の古典文明					
	南北アメリカ文明					
	内陸アジア世界・東アジア世界の形成	草原の遊牧民とオアシスの定住民 北方民族の活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成	内陸アジアの台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。三國時代から隋唐南北朝という中国の分裂と動乱の時代を理解する。隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国を理解する。			
	第II部	イスラーム世界の形成と発展	イスラーム世界の形成・発展	イスラーム世界成立の背景とその特徴、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。トルコ系民族が内陸アジアから進出し、ムスリムとの連携を確立しながらイスラーム世界を拡大させた過程を理解する。インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化を理解する。イスラーム文明の特徴とその影響、学問と文化の内容を理解する。	7	7
			イスラーム世界の発展			
イスラーム文明の発展						
ヨーロッパ世界の形成と発展	西ヨーロッパ世界の成立 東ヨーロッパ世界の成立 西ヨーロッパ中世世界の変容 西ヨーロッパの中世文化	地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されたことを理解する。ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化、スラブ人と周辺諸民族の自立の過程を理解する。十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。	7	期末		
前期 授業評価						
後期	第III部	内陸アジア世界・東アジア世界の展開	トルコ化とイスラーム化の進展	内陸アジア世界におけるトルコ人の活動とイスラーム化の進展を理解する。日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替、その興亡と社会や文化の特色を理解する。モンゴル帝国の興亡と、その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを理解する。	9	9
			東アジア諸地域の自立化 モンゴルの大帝国			
		アジア諸地域の繁栄	東アジア世界の動向	中華帝国を再興した明朝の動向とともに、朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。清朝の形成した広大な領域支配とその社会や文化を理解する。トルコ・イラン世界に誕生したイスラーム帝国を理解する。南アジアに誕生したムガル帝国を理解する。	10	10
			清代の中国と隣接諸地域 トルコ・イラン世界の展開 ムガル帝国の興隆と東アジア交易の発展			
		近世ヨーロッパ世界の形成	ヨーロッパ世界の拡大	ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服、それに伴うヨーロッパ社会の革新の動きを理解する。ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学を理解する。ドイツから始まった宗教改革を理解する。近代国家の原型となった主権国家体制の特色と体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。	11	11
			ルネサンス 宗教改革 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成			
	近世ヨーロッパ世界の展開	重商主義と啓蒙専制主義	17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解する。三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。	12	12	
		ヨーロッパ諸国の海外進出 17～18世紀ヨーロッパの文化と社会				
	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	産業革命	イギリス産業革命の背景と展開、産業資本主義体制の確立とその影響を理解する。アメリカ独立革命の経緯と独立が近代民主政治に与えた影響を理解する。アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。	13	13	
		アメリカ独立革命 フランス革命とナポレオン				
	欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制の成立	ウィーン体制の成立とその体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。ラテンアメリカの独立、アメリカ合衆国の拡張と南北戦争以後の発展を理解する。19世紀の欧米文化の特徴とその成立の背景を理解する。	14	14	
		ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 南北アメリカの発展 19世紀欧米の文化				
アジア諸地域の動揺	オスマン帝国支配の同様と西アジアの地域の変容	西アジアにおけるオスマン帝国支配の動揺と改革、アラブ諸民族の覚醒、イラン・アフガニスタンの動向を理解する。インドの植民地化とその社会の変容、東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。ヨーロッパ諸国の平等による清國の動向と近代化改革、日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。	15	15		
	南アジア・東南アジアの植民地化 東アジアの激動					
第IV部	帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義と列強の展開	帝国主義の特徴と帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。世界各地の分割と植民地化をめぐる競争と、従属させられた地域社会の動揺と変容を理解する。	16	16	
		世界分割と列強対立 アジア諸国の改革と民族運動				
	二つの世界大戦	第一次世界大戦とロシア革命	第一次の大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらしたことを理解する。20世紀の激動の基点となったことを理解する。国際協定を基礎としたヴェルサイユ体制の欧米諸国の動向を理解する。世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から、国際的な緊張が高まる時代を理解する。第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大米ソの国際的地位の高まりを理解する。	17	17	
		ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 アジア・アフリカ地域の民族運動				
	冷戦と第三世界の独立	世界恐慌とファシズム諸国の侵略	第二次世界大戦後、米・ソを中心とした冷戦体制が成立し、東西陣営に世界が分裂したことを理解する。朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化を理解する。戦後の20年間に段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し、発言力を強めたことを理解する。ドル・ショック、オイル・ショック以降の国際経済の再編、冷戦の終結への流れを理解する。	18	18	
		第二次世界大戦				
現在の世界	戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立	第二次世界大戦後、米・ソを中心とした冷戦体制が成立し、東西陣営に世界が分裂したことを理解する。朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化を理解する。戦後の20年間に段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し、発言力を強めたことを理解する。ドル・ショック、オイル・ショック以降の国際経済の再編、冷戦の終結への流れを理解する。	19	19		
	米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 第三世界の台頭と米ソの歩み寄り 石油危機と世界経済の再編					
後期 授業評価						

3 評価の観点

各観点100点満点で算出する。
○知識・技能 考査素点 70%+課題等 30%
○思考・判断・表現 考査素点 60%+課題等 40%
○主体的に学習に取り組む態度: 平素の授業態度、提出物、発表等…100%